

介護フォーラム 2025

『外国人スタッフとつくる あたらしい介護のかたち』

事例発表会



2026年3月13日(金)

14:00~16:00 (受付開始 13:30~)

不二羽島文化センター401 大会議室にて
(岐阜県羽島市竹鼻町丸の内6丁目7番地)

参加費／無料

定員／100名

(要事前申込)

お申込み方法は裏面にて

基調講演

「外国人材と共に創する
未来の介護」



高野 晃伸 氏

中部学院短期大学社会福祉学科

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで現場経験を積み、介護福祉職・施設長等を歴任。
現在は中部学院大学短期大学部社会福祉学科の教授

事例発表プログラム

- ① 「“ありがとう”は、魔法の言葉！」
- ② 「外国人スタッフがもたらすケアのカタチ」
- ③ 「ことばの壁を越えて：外国人介護士としての挑戦と希望」
- ④ 「介護事業所に望むこと」

会場へのアクセスはこちら→



主催:特定非営利法人岐阜県グループホーム協議会 岐阜県介護フォーラム 2025 実行委員会
後援: 羽島市 一般社団法人岐阜県老人福祉施設協議会 一般社団法人全国介護事業者連盟 岐阜県支部
公益社団法人日本認知症グループホーム協会 岐阜県支部 岐阜県認知症ケア専門士会

ご案内

この度、私たちは「外国人スタッフと拓くグループホームのあたらしいかたち」と題しまして、事例発表会を開催する運びとなりました。

近年、日本の介護業界では人材不足が深刻化しており、外国人材の活用は喫緊の課題となっています。

本発表会では、外国人スタッフと共に新しいグループホームのあり方を追求し、実際に成果を上げている事例をご紹介いたします。

外国人スタッフの受け入れ体制、多文化共生への取り組み、そして彼らがグループホームにもたらす新たな視点や価値について、具体的な事例を通して深く掘り下げていきます。

介護施設の管理者様、現場で働くスタッフの皆様、そして外国人材の活用にご关心をお持ちの皆様にとって、今後の施設運営のヒントとなる情報が満載です。

ご多忙とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

事例発表者紹介



小規模多機能ホーム
わおんあした葉
カルキ アスミタさん
ネパール出身

日本に来てから、3年が経ちました。私が日本で会ったステキな体験が、一人でも多くの方に伝われば幸いです。よろしくお願ひします。



グループホームあんき
レリ ラーミアニさん
インドネシア出身

日本での介護経験を通して、文化の違いを越えた認知症ケアの気づきと想いを、私自身の言葉でお伝えし、共有できたらと思います。



愛の家グループホーム大垣
チュマイ ロトウン
ニケ アルディラさん
インドネシア出身

日本に来て4年が経ちました。文化を越えて心をつなぐ介護を、皆さんと分かち合いたいです。



ガーデン柳津北館
アンシュ スヌワルさん
ネパール出身

一昨年の9月にネパールから来日しました。日本へ来て働く上で、大変だったこと苦労したこと、うれしかったこと、悩んだこと、働いていく上で事業所に望むことをお話しできればと思います。

お申込み方法

- ①QRコードにてWEB申し込み ②FAXにてお申込み



FAXお申し込み先:058-213-6882 お申込み期限 3月4日(水)迄

事業所名		法人名	
電話番号		メールアドレス	
氏名			
①	②	③	

お問い合わせ:岐阜県介護フォーラム2025実行委員会事務局

電話: 058-387-3033 Eメール: gifu-ghkyou@wakokai.or.jp